



# AUE News

2014年2月1日

第 76 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



## 目次

- 行事予定(2月1-15日)
- トピックス
- ・宮川国際交流センター長らがドイツの協定校フライブルク教育大学を訪問
- ・企業研究セミナー
- ・大学入試センター試験
- ・愛知県ユネスコスクール・ESD交流会
- ・大学生サイバーボランティア委嘱状交付式
- ・OB原弘良さんが「教師論」特別授業
- ・財務SD勉強会
- お知らせ・報告・投稿
- ・催しもの案内

## 行事予定(2/1-15)

- 4日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)
- 5日(水) 教務企画委員会 (13:30～ 第三会議室)
- 学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)
- 10日(月) 代議員会 (16:40～ 第五会議室)
- 12日(水) 附属学校運営委員会 (10:00～ 第三会議室)
- 役員会 (10:00～ 学長室)
- 代議員会 (13:30～ 第五会議室)
- 教育研究評議会 (代議員会終了後、第五会議室)

## トピックス

### 宮川国際交流センター長らがドイツの協定校フライブルク教育大学を訪問(1/11-16)

1月11日(土)～16日(木)の日程で、宮川秀俊国際交流センター長、吉澤恭子国際交流センター部会委員、オリバー・マイヤー准教授、前川由光機構運営課副課長が、本学の協定校であるドイツのフライブルク教育大学を訪問しました。

この訪問の目的は、名古屋大学・三重大学との連携事業「アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進」の一環として、フライブルク教育大学からの留学生獲得に向けたリクルート活動、国際交流関係者との情報交換会の実施と併せて、上記事業によるドイツ語短期研修の会場大学であるフライブルク大学を視察することでした。



訪問初日には、同大学のシンボルモニュメントである「Cubes」の前でLebfromm国際交流担当から熱烈な歓迎を受けた後、キャンパスツアー(図書館、本部棟、音楽棟、MENZA(生協)など)が行われました。その後、関係教員のKuhn教授の授業を利用して、マイヤー教員が、本学の概要、留学中の日本語の授業をはじめとした様々な活動、国際交流会館の現状などを中心にドイツ語によるプレゼンテーションを行いました。このプレゼンテ



ーションには、12人の学生が参加、2011年に本学に交換留学生として在籍していたステファニーさんも参加しており、マイヤー先生が準備したPP資料の留学生の諸活動や国際交流会館の写真をしながら、留学生生活を懐かしんでいました。

滞在2日目には、ドイツ語と音楽担当教員によるフライブルク教育大学側のプレゼンテーションのほか、国際交流センターにおいて、Lebfromm氏、Angelika氏(国際交流担当)やKuhn氏らとの情報交換会とDruwe学長表敬訪問を行いました。

情報交換会や表敬訪問では、両大学の今後の学術交流を充実させるための方策等を中心に意見を交換、語学の面が交換留学の大きな課題であることを確認しました。また、Druwe学長からは、「現在の両大学の学生交流は定期的に行われており、満足しています」とのお話がありました。同日夕には、フライブルク教育大学主催による懇親会が開かれ、Huneke教務担当副学長も出席し、懇親を深めました。



ドイツ滞在最終日には、フライブルク大学を訪問。名古屋大学ヨーロッパセンターのフォンリュブケ留奈子氏の案内により、MENZA(生協)を中心としたキャンパス見学とドイツ語短期研修のコーディネーターである同大学国際課のティッシャー氏との意見交換を行いました。上記研修は、3月1日～21日の間、フライブルク大学を会場として実施されるもので、名古屋大学の学生と共に6人の本学学生が参加します。ティッシャー氏との意見交換の中で、研修プログラムのスケジュールの一部に本学学生のフライブルク教育大学訪問を組みこんでいただくこととなりました。なお、今回のフライブルク大学訪問内容については、研修のオリエンテーションの資料として整理し、参加学生に情報提供を行うこととしています。



(教育創造開発機構運営課 副課長 前川由光)

### 企業研究セミナー(1/15, 16)

企業への就職を希望する学部3年生と大学院1年生を主な対象にした「企業研究セミナー」が、1月15日(水)、16日(木)の午後1時～5時、大学会館2階大集会室で開催されました。

同セミナーは、学生が企業の採用担当者から直接話を聞くことができる就職支援の催しで、2001年から毎年開催し、今年が13回目。今年は2日間合計で288人の学生が来場し、地



元有力・優良企業計83社の参加企業の採用担当者から説明を受けました。

リクルートスーツ姿の学生たちは、開場と同時に希望する企業のブースを訪れ、担当者から企業概要や業務内容の説明に熱心に耳を傾け、真剣な表情でメモをとる姿も見られました。両日ともセミナー終了時間になっても多くの学生が説明を聞いていました。



### 大学入試センター試験(1/18, 19)

2014年度大学入試センター試験が、1月18日(土)、19日(日)、本学第一共通棟、附属高校などを会場に実施されました。

両日とも、教職員と一部大学院生が試験監督、交通整理などの業務にあたり、試験前には試験

本部の第一会議室で松田正久学長が「2日間にわたり、長時間の試験になりますが、受験生が実力を発揮できるような環境で試験を受けられるように十分配慮をしてください」とあいさつし、井村美久入試課長が細かな注意点を確認し、万全の体勢で臨みました。

受験生たちは午前7時ごろから続々と来場して、応援に駆けつけた高校の先生たちの激励を受けながらも、緊張した面持ちでそれぞれの試験会場に向かいました。今年は、英語ヒアリングの機材不良などによる再試験や、そのほかの不備もなく無事に終了しました。

今年のセンター試験志願者は全国で57万人3,344人（前年比1万2,672人、2.2%減）、本学への志願は2,965人（同45人減）。なお、都道府県別では、愛知県は東京都の8万2,714人に次ぐ3万8,100人でした。



### 愛知県ユネスコスクール・ESD 交流会(1/21)

本学と文部科学省が主催し、中部ESD拠点協議会共催、愛知県教育委員会及び名古屋市教育委員会後援の「平成25年度愛知県ユネスコスクール・ESD交流会（日本/ユネスコパートナーシップ事業）」が、1月21日（火）にウインクあいち（名古屋市中村区）で開催され、教育委員会関係者、県内の66校園等から、85人が参加しました。

開会に先立ち、主催者を代表して松田正久学長が「本交流会を出発点として、環境破壊のない社会に向けて、それぞれの学校で何ができるか、また、身近な環境に触れることで、子どもたちが未来に向かってどのような環境で



育っていけばいいのかを考えてほしい」とあいさつ。その後、宮川秀俊国際交流センター長が、県内のユネスコスクールの現状について説明。併せて、各学校、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、中部ESD拠点協議会のこれまでのユネスコスクール加盟申請への尽力に対し、謝辞を述べました。



引き続き、文部科学省国際統括官付国際交渉分析官岩本渉氏が「日本におけるESDの推進について～あなたの毎日が、未来になる～」と題して講演。ESDの理念や文部科学省の取り組み等について説明しました。

休憩後、本学附属幼稚園の奥地美喜副園長、名古屋市立八熊小学校の石井鈴一校長、豊橋市立章南中学校の柴田満彦教諭、本学附属高等学校の渡邊寛吾教諭、愛知県立みあい養護学校の杉田敏範教諭から、それぞれの学校園におけるユネスコスクール実践報告が行われました。



実践報告後は、公益財団法人ユネスコ・アジア部文化センター（ACCU）教育協力部長の柴尾智子氏をコーディネーターとして、岩本氏と5人の実践報告者を交えての情報交換会を行い、参加者からは各学校園の取り組みに対する感想が述べられたり、活発な質疑応答が行われ、愛知県における今後のESD、持続発展教育に向けて、非常に有意義な交流会となりました。

（教育創造機構運営課 副課長 前川由光）

### 大学生サイバーボランティア委嘱状交付式(1/22)

ネット上の犯罪から子どもたちを守るために組織された「サイバーボランティア」の委嘱状交付式が、1月22日（水）午後1時30分から、本部棟第五会議室で行われました。

愛知県警察本部が毎年募集しているもので、今年も本学学生の申込があり、学部1年の男子学生1人に、愛知県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の横山弘泰管理官から委嘱状を交付さ

れました。

続いて、県警の同課情報セキュリティアドバイザーである梅村峰次氏による、ネット上で有害サイトを発見・通報する「サイバーパトロール」のための知識や検索方法、見つけた場合の通報方法、検索する時の注意事項についての講習が行われました。

サイバーボランティアの活動は、サイバーパトロールのほか、チラシの配布等の広報啓発活動や、サイバー犯罪被害を未然に防



止する講話支援もあり、現在、愛知県内の大学生 126 人がボランティア登録しています。交付式と講習を終えた学生は、緊張感から開放された様子で活躍を誓っていました。

横山管理官から「最近のサイバー犯罪を防止するためにも、学生さんの協力が必要不可欠です。この活動について、いろいろなご意見や考えがあれば、どんどん連絡をください。若い方は、われわれも思いつかない発想をするので本当に参考になります」との話がありました。県警では今後も随時ボランティアを募集していくそうです。

(学生支援課 課外教育担当係長 亀山重人)

## OB 原弘良さんが「教育論」特別授業(1/24)

本学卒業生で、元高校教員の原弘良さんによる特別授業が 1 月 24 日(金)に第二共通棟 421 教室で行われました。

この授業は、教員養成課程 1 年生の必修授業「教育論」の一環で、教育現場を経験した外部講師を招いたのは初めてで、1 限、2 限に学生計 220 人が受講しました。冒頭、講師を依頼した松田学長が「昨年、ある講演会で原先生と出会ったのがきっかけで、今回の講師を依頼。いつもと違う授業を楽しんでください」とあいさつがありました。



テーマは「学校の先生になろうー教職の魅力」。兵庫県生まれの原さんは現在 73 歳。工業高校を卒業後、染色工として働き、労災事故を機に教師を志して 1960 年に愛知学芸大学に入学。卒業後は、理科教員として一宮工業高校などで 36 年間、9000 人の高校生を指導。同校では、生徒一人ひとりに 7 カ月間、好きな課題を研究させるユニークなカリ



キュラムを実践しました。この日の授業では、太平洋戦争や戦後の混乱期を生き抜いた経験などを交え、子どもの本質、教職の魅力や学級づくり・学校づくりのノウハウなどを語り、「教員は子どもの本質・尊厳を胸に刻み、それを保障する“価値ある仕事”」などと熱く語り、「後輩たちよ、ええ先生になってください」とエールを送りました。

授業を受けた学生は「先生の話聴いて、人の歴史、教師の人生経験が価値あるものと感じました。いい授業をするには、子どもの心を重視することがいかに大切かと教えられました」などと感想を語り、教職への刺激を受けた様子でした。

## 財務 SD 勉強会(1/30)

財務企画課では、学内会計担当者に会計力を身につけてもらうため、財務部長、副課長及び経理調達室長らが講師となり「財務 SD 勉強会」を定期的で開催しています。

第 5 回目となる勉強会は、1 月 30 日(木)に佐藤重成副課長が講師を務め「予算、決算、消費税」をテーマとして第五会議室で開催されました。



今回は、この4月から消費税率が上がるため「消費税」に関する関心が高く、財務部職員の他、学内各課からも参加があり、40人以上と多くの職員が受講しました。佐藤講師は本学の予算、決算構造をパワーポイントを使って図式などで分かりやすく説明し、また消費税については受講生に



電卓を使って消費税額の計算をしてもらうなど飽きさせないよう創意工夫をしていました。講師が熱弁をふるったことから、受講者は終始、興味深く説明に耳を傾けていました。

財務企画課は今後も、会計関係のテーマで開催し、受講者間で討議形式の勉強会なども企画し開催することとしています。  
(財務総括担当係長 鳥井孝雄)

## お知らせ・報告・投稿

## 催しもの案内

### ◆ガラス作品展

2月4日（火）～11日（火） 入場無料、学外者の入館も可  
附属図書館アイ♥スペース  
美術教育講座主催で、学生・教員のガラス作品を展示。

### ◆UNOセレクション「愛教大フェア」

2月8日（土）11：00～17：00／2月9日（日）10：00～16：30 参加無料・予約不要  
刈谷駅前商店街 スペースA q u a  
主催：刈谷市駅前商店街振興組合 後援：刈谷市教育委員会、商工会議所、本学  
発表の場として初開催。愛教大生協オリジナルグッズの販売、食育キャラクター「食  
まるファイブ」グッズの展示紹介、オリジナル食まるカレーの試食会など。  
内容：8日は人形劇（11：～12：00）アカペラP r e m i e r（13：00～15：00）マジッ  
ク s h u f f l e（16：00～17：00）  
9日は吹奏楽団（10：00～10：30）食まるカレー試食会（11：00～13：00、先着50  
人）訪問科学実験w a k u w a k u（14：00～14：30、16：00～16：30）  
問い合わせ：N P O法人まちづくりかりや TEL 0 5 6 6 ・ 4 5 ・ 6 4 4 0

### ◆招へい教職員による講演会（第4回）

2月10日（月）14：00～16：30

第一共通棟203教室

本学の海外協定校からの招へい教職員による全学講演会。いずれも、発表は英語で行われます。

講演者①Eddy Purnomo氏（インドネシア・ジョグジャカルタ大学講師）

題目：“1. Introduce about YSU.

2. The comparison between somatotype and body composition  
in male student athlete sprinter YSU and AUE.”

②Jaemyung Goo氏（韓国・光州教育大学校准教授）

題目：“Recent trends in L2 teaching and research.”

③Byoungrae Han氏（韓国・晋州教育大学校准教授）

題目：“How to teach computer science in elementary school”

④Gerson Aparecido Yukio Tomanari氏（ブラジル・サンパウロ大学教授）

題目：“Behavioral and learning aspects involving Brazilian students in  
Japan”

問い合わせ：教育創造開発機構運営課 国際交流担当

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 1 7 9

◆光州教育大学校総長による特別講演

2月13日（木）11：00～12：30

大学会館2階 中集会室

韓国の協定校・光州教育大学校総長及び大学院長、学生9人が本学を訪問する交流プログラムの一環として、同大学校総長による講演と大学紹介プレゼンテーションを実施。発表は英語で行われます。

内容：①光州教育大学校総長 Lee Jeong Sun氏特別講演

「(仮)Teacher Training in Korea」

②光州教育大学校学生による大学紹介

問い合わせ：教育創造開発機構運営課 国際交流担当

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 1 7 9

### 編集後記

卒業生の原さんの特別授業を拝聴しました。原さんは「先生は人と人との出会いができる素晴らしい職業。退職した今も、教え子が町で“原先生！”と声を掛けてくれる。嬉しいね～」と語りました。学校でのいじめ問題や激務などで、厳しい状況に置かれている現場教員。今回の授業は教員志望の学生たちにとって大きな励ましになったのではないのでしょうか。私事ですが、小学校の恩師から今年も年賀状代わりに「モンゴル体験学習感想文集」が届きました。恩師は定年退職から10年、毎年、地元の子どもたちを連れてモンゴル遊牧民との交流をしています。その意欲と子どもたちの心境を読み取る鋭い観察眼にこちらも毎回、大いに刺激されます。文集を手にも原先生の言葉を改めて心に刻みました。（K）

### 投稿のお願い

学内外の出来事（教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など）に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：[kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者：総務担当理事 折出 健二